

うへにふくむ

2014年11月、阿部

2014年11月、阿部興業（東京都新宿区）商品部購買一課長の影山真史は、東京・目黒のデザイン事務所「nendo」にいた。翌年の創立70周年を象徴するドアの新製品を同事務所と開発するにあたり、影山が窓口となっていた。

専務の阿部清光とnendo代表のデザインナ1、佐藤才オキが共同で開発したドアの目的は

④

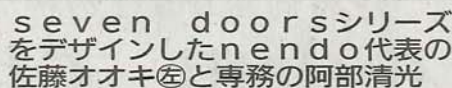
「使う人も作る人も楽し 戦にも通じるところがある
くなるドア」。3Dプリン った」と影山は振り返る。

和室建具の技で

さいドアが付随していたり、ボディが数段階に動いたり、磁石が組み込まれたり、提案された14品は、生産技術面で製品化はすべてドアの常識を覆すものだった。

「作ってもらえませんか」との佐藤の要望に、影山は不安を感じつつも首を縦に振った。「ドアの強度とか開閉の容易さなど

を縦に振った。ドアの強度とか開閉の容易さなどは度外視だったが、ドアをドア以上のものにしたという思いを感じた。ものもある。7種類は、阿部興業のこれまでの挑70周年を記念して「se



した。挑み続けて「た」と感じている。

70周年を過ぎた阿部興業だが、専務の清光は「100年企業になるには、まだまだ挑まなければいけないこと、変えていかなければならないことが多い」と気を引き締める。基幹システムの導入から、3年前に本格化した東南アジアを中心と

ークから、ドアをかたどった「A」のマークに変わった「A」のマークにも更、グループ各社にも「アベ」の名を冠した。グループの一体性を高めるのが狙いだ。「CIはグループが一丸となつて挑戦を続けていくという決意を表す第一歩。でも、戦いはこれからが本

番だ」と清光は語る。

seven door
sの完成で、社内にチャ
レンジ精神が健在である
ことを再確認した。さら
なる長寿企業を目指すべ
く、挑戦はこれからも続
く。
(敬称略)

決意込めたC-15年、コーポレー、

（この項おわり。山田諒が担当しました）